



上 《聚落》[山形県東田川郡朝日村田麦俣]1966年 下 五箇山にて撮影年不詳

没後30年

向井潤吉 心の交流記

民家を訪ね、描く楽しみ



2025 10.1(水) — 2026 3.15(日) 世田谷美術館分館 向井潤吉アトリエ館

開館時間 | 10:00～18:00(最終入館は17:30まで)

休館日 | 毎週月曜日(ただし、祝・休日と重なった場合は開館、翌平日休館)、年末年始(2025年12月29日～2026年1月3日)、10月13日(月・祝)、11月3日(月・祝)、11月24日(月・振休)、1月12日(月・祝)、2月23日(月・祝)は開館、10月14日(火)、11月4日(火)、11月25日(火)、1月13日(火)、2月24日(火)は休館

観覧料 | 一般220円(180円)、大高生170円(130円)、65歳以上／中小生110円(90円) * 障害者の方は110円(90円)、ただし小・中・高・大学生の障害者は無料。介助者(当該障害者1名につき1名)は無料。証明書をご提示のうえ、お申し出ください。

* ()内は20名以上の団体料金 * 世田谷区内在住・在学の小・中学生は土、日、祝・休日は無料

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1 TEL.03-5450-9581 <http://www.mukaijunkichi-annex.jp/>

没後30年

向井潤吉 心の交流記

民家を訪ね、描く楽しみ

豊かな湧き水があるとみえて、家の裏

で家鴨と鶏が啼き騒いでいたが、やがて

穏やかな顔をした老婆と大きい犬が

出てきて、私の仕事を確かめると家の

ほうへ引き返して消えた。家鴨と鶏の

声もいつの間にか止んで、また元の閑散

とした空気と環境に戻った。

向井潤吉『日本の民家』保育社、1979年より



《水辺の曲り家》
〔岩手県稗寛郡大迫町内川目〕1976年

春秋の豊麗で艶やかな季節よりも、

私はこの沈々とした寒さの頃の大原が

最も好ましく思っている。(中略)仕事が

終わって電気炬燵に入って一酌すれば、

『民家の画家』と呼ばれた向井潤吉(1901-1995)。草屋根民家を描き、全国各地を巡るなかで、向井はそれぞれの土地の風物や人々との

忘れがたい出会いを積み重ねていきました。没後30年を記念して開催する本展では、当館が所蔵する民家を主題とした水彩作品を中心に、現地の人々との交流を示す水彩作品や、道中の出来事や食の楽しみなどを綴った紀行文もあわせてご紹介し、向井が半生を捧げた旅の軌跡を辿ります。

まずい煮物もうまくなるのである。そして

て京の町の燈がそぞろに恋しくなる。

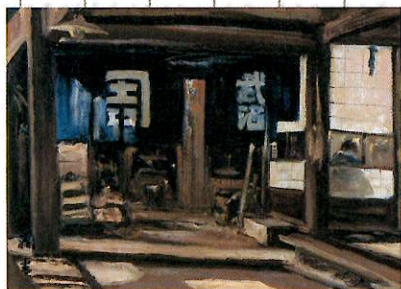
向井潤吉『日本の民家』保育社、1979年より



《大原冬に入る》
〔京都府京都市左京区大原〕1966年

昔は北海道との交易が盛んで賑わった

と聞いたが、青函連絡船が運行してから



《旅館 内庭》
〔青森県西津軽郡鰺ヶ沢町〕1962年頃

以後、すっかりとさびれた五能線沿いの

町の一つ。夕食のあと町の中を彷徨した

が、おでんの燈もない静かさで、遠く海

鳴りが響いてくるばかりであった。

向井潤吉『日本の民家』保育社、1979年より



《田麦俣の女》1960年代

この田麦俣の野良着もわざと着て

もらったが、やはりこのくらいの年齢に

ならなければピッタリとした格好になら

ないものである。それとともに顔も姿も

風土そのものである。

向井潤吉『素描集』保育社、1981年より

世田谷美術館分館 向井潤吉アトリエ館

〒154-0016
東京都世田谷区弦巻2-5-1
TEL.03-5450-9581
<http://www.mukaijunkichi-annex.jp/>
〔交通案内〕
◎東急田園都市線「駒沢大学」駅西口より徒歩10分
◎東急世田谷線「松陰神社前」駅より徒歩17分
◎東急バス(渋05)渋谷駅～弦巻営業所「駒沢中学校」下車徒歩3分



撮影 上野剛宏

Instagram
日々更新しています!



画家の暮らしの息遣いを今に伝える館内や、四季折々に豊かな表情を見せる庭など、向井館の日々の様子をご紹介します。ほか、ミュージアムグッズなどの情報もお届けしています。

世田谷美術館分館 宮本三郎記念美術館

〒158-0083
東京都世田谷区奥沢5-38-13
TEL.03-5483-3836
<http://www.miyamotosaburo-annex.jp/>
宮本三郎 都市と自然
—それぞれの光—
2025.11.1|土|—2026.3.15|日|



©宮本和義

※館内整備のため2025年9月8日(月)～10月31日(金)休館いたします。

世田谷美術館分館 清川泰次記念ギャラリー

〒157-0066
東京都世田谷区成城2-22-17
TEL.03-3416-1202
<http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>
清川泰次 デザインの仕事 —生活に息づく美—
2025.10.1|水|—2026.3.15|日|



©宮本和義



世田谷美術館 SETAGAYA ART MUSEUM

〒157-0075
東京都世田谷区砧公園1-2
TEL.03-3415-6011(代表)
<https://www.setagayaartmuseum.or.jp/>

同時開催展

企画展
ミュージアムコレクション

自然と魂 利根山光人の旅 異文化にみた畏敬と創造 9.13|土|—11.9|日|
つぐ minä perhonen 11.22|土|—2026.2.1|日|
ミュージアムコレクション特別篇
開館40周年記念 世田美のあしあと —暮らしと美術のあいだで 2026.2.21|土|—4.12|日|
ミュージアムコレクションⅡ もうひとつの物語 —女性美術家たちの100年 7.26|土|—11.3|月・祝|

※ご入館に際しては感染症予防のため手指消毒にご協力ください。館内で十分な距離を保てない場合がありますので、他のお客様への配慮をお願いします。
※展覧会の会期および内容が、急遽変更や中止になる場合もございます。会期中の最新情報は美術館ウェブサイト等でお知らせします。